【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年9月9日(2004.9.9)

【公開番号】特開2002-290895(P2002-290895A)
【公開日】平成14年10月4日(2002.10.4)
【出願番号】特願2001-90536(P2001-90536)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　5/85
　Ｇ１１Ｂ　20/10
　Ｇ１１Ｂ　27/10
　Ｈ０４Ｎ　5/93
　Ｈ０４Ｎ　7/025
　Ｈ０４Ｎ　7/03
　Ｈ０４Ｎ　7/035
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　5/85　　A
　Ｇ１１Ｂ　20/10　　３２１Ｚ
　Ｇ１１Ｂ　27/10　　A
　Ｈ０４Ｎ　5/93　　Z
　Ｈ０４Ｎ　7/08　　A

【手続補正書】
【提出日】平成15年8月28日(2003.8.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
光ディスク再生装置は図示しない早送りボタンおよび早戻しボタンを備える。早送りボタンは操作により、通常よりも速い速度で再生させるためのボタンであり、早戻しボタンは、通常よりも速い速度で逆再生させるためのボタンである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
ソースデコーダ４５は、デマルチプレクサ（ＤＥＭＵＸ）部３４にて、各パックに挿入されているストリームＩＤを判別し、ビデオデータ、オーディオデータ、サブピクチャーデータに分離し、ビデオデコーダ３８、サブピクチャーデコーダ３９、オーディオデコーダ４０の各デコード回路に分配する。サブピクチャーの処理は、ホストマイコン４４が指定したサブストリームＩＤのパックを分離して取り出してメモリ４２に書き込み、必要に応じてメモリ４２から読み出してサブピクチャーデコーダ３９によりデコード処理する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００３６】
サブピクチャー記憶部５３はサブピクチャー制御部５２の制御により、ＤＶＤｌから読み取った再生開始時点から３０秒前までのサブピクチャーデータを記憶する。さらに、サブピクチャー制御部５２は、サブピクチャー記憶部５３に記憶したデータをサブピクチャーデコーダ３９でデコード処理するよう制御する。このとき、サブピクチャー制御部５２は、サブピクチャーデコーダ３９によりサブピクチャーユニットが生成されるか否かを判別し、生成された場合は、サブピクチャーデコーダ３９によってデコード処理したサブピクチャーユニットを出力するよう制御する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
次に、サブピクチャー制御部５２は、サブピクチャーデコーダ３９によりサブピクチャー記憶部５３に記憶したサブピクチャーデータのデコード処理を開始し（ステップＳ４）、１つのサブピクチャーユニットが完全に蓄積されたか否かを判別する（ステップＳ５）。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
表示終了時刻を過ぎていないと判別した場合（ＮＯ）、サブピクチャー制御部５２は、ホストマイコン４４に、ビデオデータ、サブピクチャーデータおよびオーディオデータの出力を開始するよう制御する。このときホストマイコン４４は、ビデオデコーダ３８によりデコード処理されたビデオデータ、サブピクチャーデコーダ３９によりデコード処理されたサブピクチャーデータ、およびオーディオデコーダ４０によりデコード処理されたオーディオデータの出力を開始する。合成部４６は、ビデオデコーダ３８から出力されたビデオデータとサブピクチャーデコーダ３９から出力されたサブピクチャーデータを合成し、ＮＴＳＣ／ＰＡＬエンコーダ４７に出力する。ＮＴＳＣ／ＰＡＬエンコーダ４７は、ビデオデコーダ３８から出力されたビデオデータおよびサブピクチャーデコーダ３９から出力されたサブピクチャーデータをＮＴＳＣ映像信号またはＰＡＬ映像信号に変換し、図示しない映像信号出力端子から出力する（ステップＳ９）。前記ステップＳ８で表示終了時刻を過ぎていると判別した場合（ＹＥＳ）、ホストマイコン４４は前記サブピクチャーユニットＵの表示データを消去するように制御し、ステップＳ５に戻る（ステップＳ１０）。